

白い夏

江口あけみ 作詩
神野 和博 作曲



せんろのわきにーこいみどりをーしげらせる ざっそ



うしゃりんをきしませーざっそうをなぎたおしはしる でんしゃ



ーからだをおおきーくなみうたせすつくとたちあがるーざっ



そうしたたかにさわさわとゆれーている



しろいなつのひななか

線路のわきに
濃い緑をしげらせる 雑草
車輪をきしませ
雑草をなぎ倒し走る 電車
身体を大きく
波打たせすつくと立ち上がる 雑草
したたかに さわさわと ゆれている
白い夏の日中